

中部医師会連合特別委員会 第1回感染症対策特別委員会

日 時：令和3年8月29日(日)

午後2時～午後4時

場 所：各県医師会館（Web会議）

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

(1) 各県における新型コロナウイルス感染症の状況について

(2) 第3・4波における年末年始・GWのPCR等検査体制と今後の長期休診日に向けた対応策について

(3) 新型コロナウイルスワクチンについて

① ワクチン接種の推進にかかる各医師会の取り組みについて（全般）

② 「医療従事者」、「高齢者」、「基礎疾患を有するもの以降」の各優先接種の実施状況について

③ ワクチンの供給状況について

④ 職域接種について

⑤ 県独自のワクチン接種にかかる補助事業について

(4) 次回委員会〔9月26日(日)〕の開催について

(5) その他

4. 閉 会

中部医師会連合（令和3年度）第1回感染症対策特別委員会出席者名簿

県名	役職名	氏名	備考
三重県	副会長	馬岡 晋	
	理事	坂倉 健二	
	//	青木 大五	
	事務局	荘司 明子	
静岡県	理事	秋山 欣丈	
	//	福地 康紀	
	//	小野 宏志	
	事務局	有枝 礼子	
	//	鎌田 千草	
石川県	副会長	高田 重男	
	理事	橋本 英樹	
	//	長尾 信	
	事務局	村田 紀文	
愛知県	副会長	浅井 清和	
	理事	田那村 收	
	//	西脇 毅	
	事務局	高田 聡	
	//	横地 宏和	
	//	黒田 将貴	
富山県	副会長	村上 美也子	
	常任理事	堀地 肇	
	//	鳴河 宗聡	
	事務局	山内 直人	
岐阜県	副会長	臼井 正明	
	常務理事	近藤 由香	
	//	磯貝 光治	
	事務局	田宮 陽一	
	//	岡田 朋子	
福井県	会長	池端 幸彦	
	副会長	安川 繁博	
	//	大嶋 勇成	
	事務局	五十嵐 国行	
	//	中山 崇嗣	

中部医師会連合 第1回感染症対策特別委員会

日 時：2021年8月29日（日）14時～16時

会 場：富山県医師会館（Zoom会議にて参加）

参加者：村上副会長、堀地常任理事、鳴河常任理事
山内業務係長

議題1. 各県における新型コロナウイルス感染症への状況について

本日8月29日の時点で中部7県は緊急事態措置地域4県[愛知・岐阜・三重・静岡]並びにまん延防止等重点措置地域2県[石川・富山]の状況であり、福井を除く6県において感染者が急増している。当該6県では医療提供体制がひっ迫し病床使用率は50%を超え軽症者宿泊療養施設の受け入れ可能人数もほぼ満床に達しており、自宅療養者数が大幅に増加している。7月中旬頃から始まった第5波に関しては、ワクチン接種率の高い65歳以上高齢者の感染割合が極端に減少したことや20代以下の感染者が急激に増加していること等が各県共通の特徴として上げられた。また感染力の強いL452R変異株の検出率はどの県においても約9割を占めること等が説明された。

・軽症者宿泊療養施設の管理体制について

愛知県：県医師会 三重県：基幹病院医師 静岡県：各郡市医師会（輪番）

石川県：県医師会・基幹病院と看護協会 富山県：県医師会と看護協会

岐阜県：病院協会 福井県：郡市医師会

・自宅療養者への対応

愛知県：パルスオキシメーターを自宅に郵送し検温の実施を依頼。保健所が管理。

三重県：一時は保健所のファーストコンタクトが3日後になる事例が増えていたが、

現在は翌日に改善された。パルスオキシメーターはかかりつけ医から配布することも検討している。

静岡県：静岡市では保健所が診療所にフォローアップを依頼する事業を開始したが、保健所業務増加に伴い連携がとれなくなってしまった。このため、外来診療した医師が患者の同意を得て自宅のフォローアップ診療を行う形式に変更した。パルスオキシメーターは診療所に余裕があれば貸し出すシステムを運用している。また、ロナプリーブの点滴治療を加えた。

石川県：電話診療可能な診療所の協力と対応可能な薬局の協力を得て実施している。

急変時等は在宅診療を行っている医師への協力を依頼することを検討している。

富山県：保健所は翌日にはファーストタッチを行っているが、患者数増に伴い健康観察は毎日できなくなってきた。妊婦さんに関しては産科のかかりつけ医の協力を得て感染症指定病院へ入院できる体制をとっており、小児についてはオンラインによるかかりつけ医の対応を今後検討している。

岐阜県：始まって1週間程しか経っていないが、県庁が独自で対応している。医師会としては会員への緊急アンケートにおいて電話診療や訪問診療に協力できる医師の意向を調査して、今後活用する方針である。

福井県：自宅療養者は現在のところいない。

- ・神奈川県がコロナの在宅患者で発熱3日以上の方にステロイド投与の推奨することを発表した。ガイドラインから外れた早期の投与であり、この件に関する各県の見解について

愛知県：軽症者宿泊療養施設や訪問診療においては担当医の判断でSpO₂が90を切る時に投与を始めている。

石川県：病院以外ではやらないこととしている。

静岡県：副作用が危険なのでやめて欲しいという意見があった。

議題2. 第3・4波における年末年始・GWのPCR等検査体制と今後の長期休診日に向けた対応策について

各県よりPCR行政検査実施医療機関数等について説明した。また、富山県からは堀地常任理事が富山市・医師会急患センターの年末年始とGW期間の発熱外来患者数、PCR検査数及び陽性率等について説明した。

議題3. 新型コロナウイルスワクチンについて

各県より①ワクチン接種の推進にかかる各医師会の取り組みについて(全般)②「医療従事者」、「高齢者」、「基礎疾患を有するもの以降」の各優先接種の実施状況について③ワクチンの供給状況について④職域接種について⑤県独自のワクチン接種にかかる補助事業についての各分野にて説明した。各県概ね自治体を実施する集団接種への医師等の派遣や個別接種の実施に協力している。優先接種に関しては、医療従事者は全ての県で接種完了

しており、高齢者に関しても2回目接種が約9割完了している。ワクチンの供給については国からの供給量に左右される部分が多く、7月頃から供給量が落ちたことによって一般の方への接種スケジュールに遅れが生じたことや職域接種の申請が一時ストップされることとなった。また県独自のワクチン接種事業では、個別接種並びに巡回接種促進のための支援金の上乗せ事業や集団接種会場への出向にかかる支援金交付事業、また職域接種医師紹介事業等が紹介された。

議題4. 次回委員会 [9月26日(日)] の開催について

9月26日(日)10時より今回同様Zoomにて行うことが了承された。議題としては自宅療養者への対応や宿泊療養者施設での対応、またクラスター対策等における各県の取組みについて協議することとしている。